

令和3年度若戸フェスタ コロナ禍のお祭り

コロナ禍でお祭り？ 柔軟なアイデア！

若松町町会、戸山一丁目町会では、毎年9月の2日間、大久保通りの一部を通行止めにし、道路中央にやぐらを設置して輪踊りを開催しています。開催期間中は、輪踊りだけでなく、早稲田小学校の「金管バンド」や余丁町小学校の「和太鼓」の演奏を行ったり、商店やPTAが縁日の夜店を出店していました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりましたが、地域の皆さんにお祭りの気分だけでも味わってほしいと思い、令和3年度は神輿と太鼓を車にのせて、太鼓を叩きながら地域を巡行しました。また、地域の子供達にお菓子とマスクを配布し、子供達の笑顔を見ることができました。費用の一部は、新宿区地域コミュニティ事業助成を活用し、より多くの子供達にお菓子とマスクを配布できるよう工夫しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で町会の様々な事業が中止になりましたが、今後も感染症対策を徹底しつつ、アイデアを出し合って、町会活動を継続していきます。



▲ 車にのせた神輿と太鼓



▲ お菓子をもらう子供達



【若松町町会 原嶋会長】

新型コロナウイルス感染症の影響で、子供達が参加してくれるか心配でしたが、太鼓の音に誘われてか、たくさんの子供達が参加してくれ、最終的には約250名の子供達にお菓子を配布しました。



【戸山一丁目町会 松島会長】

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業が中止になりましたが、久しぶりに子供達の笑顔を見ることができました。また、今回の事業で町会同士の繋がりを深めることができました。